

海外安全対策情報（2022年10月～12月期）

1 社会・治安情勢

観光客や州外の邦人が被害に遭ったという事件は報告されていない。

新型コロナウイルスによる国境・州境に対する制限を含むほぼすべての制限が撤廃され、検査も簡素化されてきている。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 全体

2022年10月～12月期の西豪州全体における総犯罪発生件数は69,897件。パース首都圏では50,350件であり、西豪州全体における首都圏の割合は72%となっている。

前年同期比は、西豪州全体が+14.4%、パース首都圏が14.8%と増加しており、前期比（2022年1月～3月期）でも、それぞれ+10.3%、+8.3%と増加している。各項目で見ても総じて増加しており、特にコロナによる行動制限が撤廃されたことにより人の出入りが増加しており、相対的に観光客がスリや置き引きなどの標的となる可能性が高くなっている。

西豪州警察によれば、一般犯罪は予め計画されたものではなく、機会に便乗した犯罪が多くなっている。車内に貴重品を置かない、自宅の戸締まりなど、基本的な防犯対策を怠らないようにした上で、万が一の時にどのように対応すべきかを日頃から想定しておく事も大切である。

(2) 主な犯罪発生件数内訳

	発生件数	前年同期比
(ア) 西豪州全体	69,897件	+14.4%
殺人	18件	+12.5%
性犯罪	1,171件	+14.8%
家庭内暴行	7,573件	+20.0%
家庭外暴行	4,124件	+9.7%
窃盗	19,914件	+22.3%
薬物犯罪	5,311件	+12.6%
詐欺関連	8,120件	+9.9%
(イ) パース首都圏	50,350件	14.8%
殺人	9件	▲10.0%
性犯罪	747件	+5.5%
家庭内暴行	4,056件	+18.7%
家庭外暴行	2,771件	+7.5%
窃盗	16,586件	+22.6%
薬物犯罪	3,639件	+7.2%
詐欺関連	7,235件	+14.8%

(3) 窃盗

総犯罪件数の約3割を占める窃盗関連事件については、西豪州全体で19,914件。財布などの貴重品の管理には細心の注意を払い、基本的防犯対策を講じることが重要。

特に海外から西豪州を訪問する人は観光地や首都圏はもちろん、郊外においてもスリ、置き引きに十分注意したい。

また、窃盗関連事件のうち、自動車に関連する窃盗（車上荒らし）が約4分の1を占めていることから、外出先などでは駐車場所に注意するとともに、車両から離れる場合にはごく短時間であっても施錠するなどの対策が必要。

(4) 詐欺

大半がクレジットカードに関連するもので、依然として増加の傾向となっている。西豪州警察は、銀行口座の暗証番号等の管理の徹底はもちろんのこと、定期的な使用履歴の確認が不正利用の早期発見につながるとして注意を呼びかけている。また、新型コロナウイルスに関連する詐欺事件も報告されており、不用意に個人情報を電話口等で提供することのないよう注意する必要がある。

(5) 邦人被害事案

報告されていない。

3 テロ・爆弾事件発生状況

報告されていない。

豪州政府が公表しているテロ警戒レベルは、全体で5段階のうち、上から3番目の「起こる可能性がある（Probable）」であり、脅威度は東海岸の都市に比べても低いとみられているが、近年はテロの発生を予測し未然に防ぐことがますます困難となっているので、テロはどこでも起こり得ること、日本人も標的となり得ることを念頭に置き、日々の情報収集に努めることが重要である。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

特異な事件は報告されていない。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

当地では対日感情は良好であり、現在までのところ日本企業にとって安全面で脅威になる問題は認められない。

(了)